

南区 呼続学区 火災延焼ハザードマップ

気を付けて!(地震編)

- 1. 空き家**
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。
- 2. 古い(高い)ブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるためすぐ離れる。近づかない。
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。
- 4. 電線**
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。

- 5. 瓦屋根**
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。

南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震は30年以内に発生する確率が70～80%といわれています。

呼続学区は、木造住宅密集地域があり、震災火災の危険が懸念される地域です。

被害を抑えるためには、平常時からできる限りの備えを進めることが重要です。自宅の耐震化や家具などの転倒防止、感震ブレーカーの設置などを行い、巨大地震に備えましょう!

火災延焼の危険性



延焼クラスター (クラスター内の建物棟数)

- 100棟未満
- 100～500棟未満
- 500～1,000棟未満
- 1,000～2,500棟未満

図面の見方

- 建物構造、規模に応じて、延焼範囲の重なる建物群(延焼クラスター)内の建物棟数を色分けして明示しています。
- 延焼クラスター内の建物棟数が多いほど、燃え広がる可能性の範囲が広く、その発生危険度も高くなります。
- 色が無い地区でも、単体の火災の発生や100棟未満の火災延焼の発生可能性があります。

避難所・避難場所



指定避難所一覧

自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための所

- 呼続小学校
- 新郊中学校
- 呼続コミュニティセンター



指定緊急避難場所

命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所

大規模な火事 地震の揺れ

	大規模な火事	地震の揺れ
① 呼続小学校 グラウンド	×	○
② 新郊中学校 グラウンド	○	○
③ 呼続コミュニティ センター-屋外	○	○
④ 呼続公園	○	○

呼続学区 大地震発生時の行動マニュアル

地震発生

①地震だ！まずは身の安全（家の中）

とにかく自分の身を守る、落下物から身を守りましょう！

- ・机の下に入る
- ・クッション、雑誌などで頭を守る
- ・家具から離れる
- ・ガラス面から離れる

しっかり机の脚をおさえる！



2分

②大揺れが収まったら、火の始末

しっかり火の始末で火災阻止！

- ・台所やストーブなど火の始末をしましょう
- ・避難の際は、ブレーカー・ガスの元栓を切っておきましょう

火が出たらすぐに初期消火！

- ・「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に協力を求める
- ・消火の備えや消火訓練を怠らずに！



揺れが収まってから落ち着いて！



5分

③我が家の安全確認！

- ・家族の安全確保、確認
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・ガラス片や転倒家具に注意
- ・避難時には避難先のメモを残す

あわてて外に飛び出さない！

- ・むやみに外に出るのは危険です
- ・周囲の状況を良く確かめて、落ち着いて行動しましょう



揺れが収まったら出口の確保！



戸を開けて出口の確保をする！

- ・マンションなどは地震の揺れでドアが歪み、閉じ込められることがあります
- ・戸を開けて出口の確保をしましょう

正しい情報で行動する！

- ・災害時はデマなどに惑わされやすくなります
- ・報道機関や区市町村、消防署、警察からの情報に注意しましょう
- ・携帯ラジオを準備しておきましょう

正しい情報の入手！



10分

④一時集合場所（自主防災会指定の場所）に集まって助け合い！

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人を救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・ケガ人の救護

あなたの町内の一時集合場所を書いておこう！



半日

⑤避難後、数日間

2～3日は自分でしのぐ！

- ・地震発生後の数日間は水道・電気・ガス・電話などライフラインを始め食料の供給が途絶えます
- ・2～3日は自分でしのげるように、生活必需品を備えておきましょう

裏面の ～火災延焼ハザードマップ～ も見てね

